

くらしのなかの 水道・下水道



凍結注意

最低気温が-4度以下になると水道管の凍結警報です。昨シーズンの水道管凍結で一番多かった原因は、凍結防止ヒーター線の故障や電源の入れ忘れでした（白石市管工事業協同組合調べ）。寒波に備え準備が大切です。

☎上下水道事業所 ☎25-5522

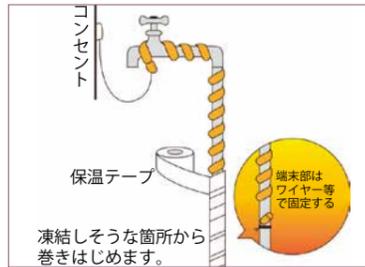
■凍結防止のポイント！

①凍結防止ヒーター線のプラグを差し込み、通電ランプを確認する。



▲一般的なコンセント

屋外の露出した水道管や蛇口をタオルや保温材、ヒーター線などで保温する。
※ヒーター線や保温材はホームセンターで購入できます。

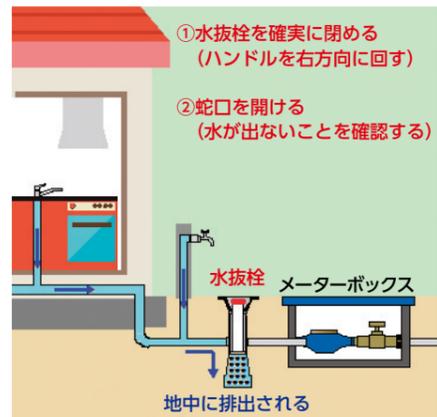


▲保温方法



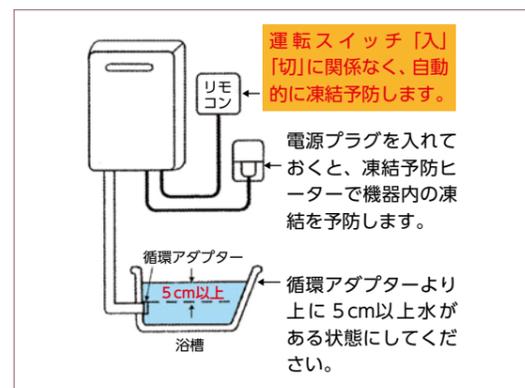
▲保温材料

②就寝前に水抜栓を操作し、水道管内の水抜きをする。



▲水抜栓操作方法

③給湯器の凍結防止は浴槽の水を溜めておく・電源プラグは抜かない。



▲給湯器の対策

■水道管が凍結したら！

水道管が凍結すると水が使えないだけでなく、破裂して修理費用など思わぬ出費につながります。長期不在のときや空き家などは、漏水の発見が遅れると使用料金が高額になる恐れがありますので、しっかりと凍結防止の対策をしましょう。

寒波になると水道管の凍結が多くなり、水道工業者に依頼しても順番待ちになることが予想されます。指定給水装置工事事業者一覧はホームページをご覧ください。



災害に備え水を確保しましょう！

日ごろからペットボトルの水を保存し、お風呂の残り湯をすぐに捨てずに溜めておくと、水道が凍結したときにも使用できます。



上下水道事業所
ホームページ



▲8月に登別市で開催した「登別市・白石市姉妹都市提携40周年記念式典」で両市が交換した記念品を披露する山田市長と伊藤嘉規登別市副市長（右）

白石市・登別市姉妹都市提携40周年

さらなる友好・親善交流を誓う！

姉妹都市提携40周年記念式典・祝賀会を開催
11月10日、「白石市・登別市姉妹都市提携40周年記念式典・祝賀会」をベネシアンホテル白石蔵王で開催しました。

本市と登別市との関係は、明治2年の白石藩主・片倉邦憲一行が移住したときからの歴史的なつながりから始まるもの。昭和57年に白石青年会議所と登別青年会議所が姉妹青年会議所となり、以来、両市のつながりが一層深まり、昭和58年10月26日に姉妹都市の盟約を締結しました。この締結以降、本市と登別市は、青少年によるスポーツ交流や物産交流、教育、文化、産業などさまざまな分野で相互交流を行っています。

この日の記念式典には、本市と登別市のほか、姉妹都市である海老名市の関係者など約70人が出席。第1部の記念講話では、菊地正昭副市長が「戊辰と北海道跋涉」と題し、本市が舞台となった奥羽越列藩同盟の白石会議から北海道開拓に向かう経過などを説明しました。第2部の記念式典では、山田市長が「私たちの先祖が築いた両市の関係を、後世にわたってもつなげていきたい」とあいさつ。



▲記念講話を行う菊地副市長。出席者は真剣に耳を傾けていました

伊藤嘉規登別市副市長は「8月に登別市で開催した『登別市・白石市姉妹都市提携40周年記念式典』に、白石市から市民団も来ていただき盛大に開催することができました。今後も両市の交流をより一層深めていきたい」と述べました。

式典の最後には、登別市での記念式典で交換した両市の記念品が披露され、長きにわたって培われた友情と交流の輪を再確認するとともに、今後のさらなる友好・親善交流を誓い合いました。